おおてみち

第134号
令和８年（2026年）１月１日
滋賀県立安土城考古博物館



第71回企画展

近江

道が織りなす物語

令和8年
2月14日(土)－4月5日(日)

開館時間　午前9時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで
休 館 日　月曜日 ※ただし、月曜日が祝日の場合は翌日
入 館 料　大人660円(530円)／大学生400円(330円)
※小中高生・障がい者及び県内在住の65歳以上の方は無料です。
※( )は20人以上の団体料金です。

主催　滋賀県立安土城考古博物館　　共催　京都新聞

近江風土記の丘
滋賀県立 安土城考古博物館
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum

第71回企画展
「近江―道が織りなす物語―」

会期：令和8年2月14日(土)～4月5日(日)
会場：企画展示室

近江（滋賀県の旧国名）は、奈良時代以降、都の置かれた畿内と隣り合う場所として重視され、「道の国」と呼ばれるほど交通網が発達しました。古くは「唐橋」と呼ばれた瀬田橋や、織田信長が安土城築城を機に整備した街道など、今なお使われ続ける道もあります。

人の行き交う道には、名物もつきもの。風光明媚な景色を描く「近江八景」の浮世絵や、茶の湯の流行にともなって作られた比良焼や臨湖焼といった雅趣に富む焼き物も、道を通じて広まりました。本展では、「この道を通ったのは誰か？」という視点から、県内の考古資料や絵画、古文書、陶器や工芸品を紹介します。展示品を通じて、近江の道や風景を楽しんでいただければ幸いです。

（瓜生翠）

【主な展示資料】

唐橋遺跡出土品（滋賀県立琵琶湖博物館蔵）
近江国大絵図、近江物産志（滋賀県立琵琶湖文化館蔵）
山本春挙画「四季図」のうち冬・春（滋賀県立美術館蔵）
（展示替：「冬」2／14～3／10・「春」3／11～4／5）
姥餅焼、瀬田門平焼、比良焼、臨湖焼等
（滋賀県立陶芸の森蔵）

〈企画展関連講座〉

①2月22日(日)　13時30分～15時
「近江は道の国」
講師　瓜生翠（当館）


近江国大絵図（滋賀県立琵琶湖文化館蔵）


比良焼　錆絵薇文向付（滋賀県立陶芸の森蔵）


大津絵人形（大津市歴史博物館蔵）

②3月8日(日)　13時30分～15時
「「近江」を通る鳥たち」
講師　佐藤華音氏（滋賀県立琵琶湖博物館）

③3月15日(日)　13時30分～15時
「滋賀県ゆかりの画家 山元春挙(仮)」
講師　山口真有香氏（滋賀県立美術館）

④3月22日(日)　13時30分～15時
「近江の陶窯をめぐるよもやま話」
講師　鈎真一氏（滋賀県立陶芸の森）

⑤3月29日(日)　13時30分～15時
「発掘された古代の道」
講師　辻川哲朗（滋賀県文化財保護協会）

参加費　500円(資料代)※各回当日支払い
会場　当館2階セミナールーム
定員　120名

〈特別陳列Ⅴ〉

滋賀県立安土城考古博物館・滋賀県立陶芸の森連携企画

「学芸員の自由研究　まぼろしの陶窯
―比良焼・杣山焼・臨湖焼―」

会期：令和8年2月14日(土)～4月5日(日)
会場：望楼下

高島市（旧今津町日置）の妙見山遺跡茶碗山窯跡では、昭和63年度から平成7年度に実施した発掘調査で1万点以上の陶片が発見されています。今回、当館と陶芸の森の学芸員はこの焼き物に注目し、滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場の協力を得て、出土陶片と陶芸の森所蔵の伝世品との比較分析を試みました。本展示では、その「自由研究」の成果を報告します。

資料紹介

大岩山銅鐸　9号銅鐸

銅鐸は、弥生時代中期初め（約2200年前）に朝鮮半島から北部九州に伝来し、中国・四国から東海地方まで普及しました。近畿地方では盛んに製作され、役割を終えた後は、山麓や丘陵など集落から離れた場所に単独もしくは複数で埋納される、未だ謎の多い青銅器です。

野洲市の大岩山（おおいわやま）では、明治14年（1881）に14口（1～14号）、昭和37年（1962）に1口と9口（1～10号）の銅鐸が近接した場所で出土しています。

日本最大（134・7㎝）の銅鐸（1号）を含む明治14年出土銅鐸は、弥生時代後期末（約1700年前）に一括して埋納されたと推定されています。

一方、昭和37年に出土した銅鐸は、最初に10号（流水文、近畿式）が単独で埋納され、その後に9口（1～9号）が一括して埋納されたと推測されています。

明治14年出土の銅鐸のうち12口は、東京国立博物館（1・2号）、知恩院（3号）、天理大学附属天理参考館（5号）、辰馬考古資料館（8号・9号）、國學院大學博物館（10号）、MOA美術館（12号）、個人（6号）、ケルン東洋美術博物館（4号）、サンフランシスコ・アジア美術館（7号）、ミネソタ美術研究所（11号）に所蔵されていますが、2口（13・14号）は行方が不明となっています。



大岩山銅鐸　9号銅鐸

一方、昭和37年出土の10口は当館が所蔵しており、うち5口（3、5、6、8、10号）は野洲市歴史民俗博物館で展示されていますが、当館では、館蔵の1号、2号（袈裟襷文、大福型）、4号・7号（袈裟襷文、近畿式）、9号（袈裟襷文、三遠式）の5口を特別陳列で（2月1日（日）まで）展示しています。

今回、原品を展示する5口の銅鐸の中で9号は、三河・遠江（愛知県東部・静岡県）を中心に限られた範囲に分布する銅鐸です。近畿地方を中心に分布する近畿式と三遠式の銅鐸を組み合わせて埋納した例は大岩山以外では確認されていません。9号銅鐸は、前方後方形周溝墓や近江系土器の拡がりから見て、近江（滋賀県）と三河・遠江地方とが深い関係にあったことを示しています。

近畿式銅鐸と三遠式銅鐸の共通点と相違点を見比べていただき、倭国大乱の時代、何故両者が同じ場所に埋納されたのか、想像してみて下さい。（藤﨑髙志）



大岩山銅鐸　1～10号鐸

復元・体感アプリ「安土城」

令和6年から制作を進めていたアプリが令和7年10月に完成し、現在、アップストアとグーグルプレイで公開中です（ダウンロード無料）。

アプリでは、城跡内の16か所のスポットで、当時の景観を復元した360度高精細CGが見られるほか、天主復元案6種類を順番に見たり、盂蘭盆会や幻の行幸のCGも見られます。また、発掘調査の遺構写真や図面、遺物も紹介しています。

そのほか、家紋スタンプラリーや発掘体験機能、大手広場に織田信長など織田家の武将がCGで出現し、一緒に記念撮影できるなど、楽しいメニューも満載です。

アプリは現地で使用するメニューがほとんどですので、ぜひアプリをダウンロードして、現地を訪れてください。なお、データ容量が大きい（約2GB弱）ので、事前にWi-Fi環境でのダウンロードをお勧めします。（滋賀県文化財保護課）



App Store　Google Play

博物館の主な催し

第71回企画展「近江 道が繋りなす物語」
令和８年2月14日(土)～4月5日(日)

特別陳列Ⅴ「学芸員の自由研究 まぼろしの陶窯―比良焼・杣山焼・臨湖焼―」
令和８年2月14日(土)～4月5日(日)

特別陳列Ⅳ「滋賀の縄文・弥生・古墳時代」
令和7年11月29日(土)～令和8年2月1日(日)

でかける博物館「寛弘寺古墳群が映す古墳時代」
令和7年12月6日(土)～令和8年2月1日(日)

1月

12月28日(日)～1月5日(月) 年末年始休館
12日(月・祝) 連続講座Ⅲ「豊臣秀長と近江」②「秀長家臣・藤堂高虎の生涯―築城家の真相―」
講師…太田浩司氏（淡海歴史文化研究所所長）
13日(火) 休館日
19日(月) 休館日
26日(月) 休館日

2月

2日(月) 休館日
9日(月) 休館日
14日(土) 連続講座Ⅲ「豊臣秀長と近江」③「秀長家臣・小堀正次の生涯―遠州の父の姿―」
講師…太田浩司氏（淡海歴史文化研究所所長）
16日(月) 休館日
22日(日) 企画展関連講座①「近江は道の国」
講師…瓜生 翠（当館学芸員）
24日(火) 休館日

3月

2日(月) 休館日
8日(日) 企画展関連講座②「「近江」を通る鳥たち」
講師…佐藤 華音氏（滋賀県立琵琶湖博物館学芸員）
9日(月) 休館日
15日(日) 企画展関連講座③「滋賀県ゆかりの画家 山元春挙（仮）」
講師…山口 真有香氏（滋賀県立美術館学芸員）
16日(月) 休館日
22日(日) 企画展関連講座④「近江の陶窯をめぐるよもやま話」
講師…鈎 真一氏（滋賀県立陶芸の森学芸員）
23日(月) 休館日
29日(日) 企画展関連講座⑤「発掘された古代の道」
講師…辻川 哲朗（滋賀県文化財保護協会）
30日(月) 休館日

当館・大阪府立近つ飛鳥博物館連携企画
でかける博物館 in 滋賀県立安土城考古博物館

寛弘寺古墳群（かんこうじこふんぐん）が映す古墳時代

会期：12月6日(土)～2月1日(日)
会場：当館企画展示室

寛弘寺古墳群は、大阪府南河内郡河南町の西部に位置し、千早赤阪村から北流して石川に合流する千早川と、その西側の富田林市域を北流する宇奈田川に挟まれた丘陵上に造られた古墳群です。

1982年から1996年にかけて実施された大規模な発掘調査により、古墳時代前期から終末期に至るまでの91基の古墳によって構成された古墳群であることが明らかになりました。

本展示では、古墳時代を通じて連綿と造営が続けられた寛弘寺古墳群の出土資料から、古墳時代の葬送儀礼の変化を通観します。

（大阪府立近つ飛鳥博物館）



10-2号墳出土半円方形帯二神二獣鏡



12号墳出土石製品
（大阪府立近つ飛鳥博物館蔵）

※シアターを視聴される方は、こちらのQRコードから予約ができます。→
※講演会・講座の会場は当館セミナールームです。
※事情により行事内容や日時・講師が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認下さい。
※滋賀県立安土城考古博物館は公益財団法人滋賀県文化財保護協会が指定管理をしています。

おおてみち　第134号
令和８年（2026年）１月１日発行
編集・発行　滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311　滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678　TEL0748-46-2424
E-mail：gakugei@azuchi-museum.or.jp　URL：https://www.azuchi-museum.or.jp